

読者からのお便り

先般はご尊父樸庵白純大和尚様十三回忌にお招きいただき、親しく霊前に焼香の栄を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

想像はいたしておりましたが当日は海外留学僧の辞令交付の式を併せ素晴らしい式典でございました。

白純老師の子弟数多い中で六男武志老師の孝順心は一極目立ち誰にも「まね」の出来ない盛儀でした。お父さまもさぞかし御満悦のことと推察いたしております。見事でした。敬服いたします。

大導師吉祥寺岩本老師の香語の素晴らしさ音量の豊かさ、涙の出てるような感激でした。当日、佐藤俊明老師の搭けていた糞掃綾子にお目を止め、何とか一肩というお話になりました。帰宅してから家内に其の事を話し、十三回忌のご縁だからと

快く引き受け把針三昧、本日出来上りましたので送らせていただきます。方丈様より吉祥寺様に差上げていただければ幸甚です。

長野市 池沢 悦二

『成寿』第十六号をお送り下さいまして誠にありがとうございます。台湾と親善友好を深めることは結構なことでございます。お互いに末永く提携して世の為努力いたしましょう。まずは御挨拶まで。

台湾仏教会館住職 妙 然

益々御活躍の段拝誦、年とともに育英会の輪が拡がって仏教界を圧する勢いになってゆくのに驚き敬服しております。御自愛御活躍祈り上げます。

東京都 鏡島 元隆

号を追うごとに充実した誌面に何よりも啓発をうけますことを有難く

存じます。海外留学僧の派遣も第八回となるようで、多くの実績を挙げておられるようでお慶び申し上げます。尚、賢志君の得度の報はこれまた嬉しいことです。兄弟が揃って仏法興隆のために尽力されること、何より力強いことです。

どうぞ益々お大事に御宣揚の程を念じあげます。

東京都 昼間 光威

「照耀念仏台湾を歩く」を拝見しまして、戦前両親が台湾で苦勞した話を思い出し、仏法の興隆をとおして世界の平和に努力しておられる姿に感銘しました。又、地球環境問題の指針を『修証義』が与えているので、横浜総研の「環境と食」研究の原点を見ました。「宗祖を通して釈尊に還る」を思い出し、何もないと行動しない私の不甲斐無さを、はずかしく思います。

方丈様に手紙を差し上げる事で

清々しい気分になり、田舎の両親に報告させていただきまます。ありがとうございます。うございました。

横浜市 吉川 文夫

これだけ立派な季刊誌をお出しになられるのは、編集者として御苦労の程が偲ばれ、尊いことだと存じます。余程の志がなければ続かない大きな企てですが、老師様の御志は、二一世紀と世界にまで拡がり、御法の転法輪一筋に注がれておられますことは、本当に素晴らしいことだと存じます。

赤間氏の「ひとすじの太陽」の如く、方丈様の下に赤誠が集約され、その大誓願が成就されますよう祈念して止みません。私も微力乍ら、出版活動を通して一隅を照し続けて参りたいと念願致しております。

東京都 永井 光延

巻を逐うごとにますます充実して

くるのを頼母しく存じている次第です。特に今回の台湾特集は、私にとりまして二十数年前の宗学研究所員時代からの台湾仏教界の知人が数名おり、現在も大活躍しているため、懐しく拝読させていただきました。同封の「海外留学僧募集」の貼札、早速仏教研究館の掲示板に貼らせていただきました。仏教の国際化が叫ばれている現在、一人でも多くの希望者が出ることを祈っている次第であります。

川崎市 新井 勝龍

台湾大学の大鳥文庫のことでは大変お世話様になりました。貴重な時間をお割きくださり間隙をぬって見て来ていただき、有難く思います。やはり大鳥文庫は昔のままで大切に保存されていたのですね。日本人で大鳥文庫の図書目録なり蔵書の一部をご覧になられた方はそう滅多におられないのではなからうかと思いま

す。と申しますにそもそもその存在をあまり知らない方が多いからです。『成寿』最新号で拝読させていただきましたその確認が得られて、なんとも感激し頗る嬉しく思いました。

東京都 村田 一夫

日本はまもなく梅雨入りのころでしょう。昨年の九月に横浜に移り住み、そのころから現在まで方丈様には様々なご助力を頂き、感謝にたえません。得度式にも来て頂き、又、パクナムでの修行に關してのご配慮身に余る光栄です。

得度式からしばらくして感じたことですが、他の外国人に比べても私どもは破格の恵まれた条件を与えられているように思われます。又、得度式までの一週間にしても、寺院側の丁寧な対応に有難く思うと共に、方丈様及び留学生育英会とワット・パクナムとの強い結びつきを、あらためて感じさせられた次第です。こ

れも方丈様の願いとするところが持
続して行なわれていることのあらわ
れと考えられます。何度も申し上げ
たように思います。私のような一
般人がタイ国で、テーラ・ヴァダ比
丘として出発することは夢のような
話で、まず実現は無理だろうと考え
ておりました。それが実現したこと
は仏教の新たな復権を願う方丈様の
誓願と檀家の方々、育英会の諸先生
のお氣持が、この無力な私に与えら
れたものとの考えが日々強くなる思
いで。

このタイ国は確かに仏教国です。
日々、驚き、考えさせられることが
多くあります。しかし、当然のこと
ながら結論めいた事を考える必要は
まったくありません。数百人いる比
丘の中にはまさしく様々な者がおり
ます。戒律がそうであるように、自
己の意思が絶えず問われていること
は、どのような日々を送ろうと考え
ようによってはまったく自由なこと

になります。条件はそろえてある、
すべてはお前が考えろ、そして行動
しろ。この見えない戒律がテーラ・
ヴァダのテーラ・ヴァダたるどころ
でしようか。まだ何もわかりません
しかし、私がすべきことは無限にあ
ります。方丈様、育英会の誓願がこ
のワット・パクナムにも大きな波動
となって伝わっております。皆様の
ご期待に答えられるよう日々、努力
を重ねて行く所存です。

ワット・パクナム

落合隆（ピントーラタノー）

湾岸戦争は宗教戦争ともいわれま
した。キリスト教・ユダヤ教・イス
ラム教の戦争ということです。アメ
リカもイラクも「愛と正義」のため
に殺しあつたのは、日本人にはよく
理解できませんでした。戦争する両
国の大統領はそれぞれ神に祈り、演
説の終りに「神のお加護を」と唱え
たのは奇妙に聞こえたものです。

今こそ不殺生を第一とする仏教が、
これらの宗教の対立から協調へと進
展させる使命をになうときがきまし
た。おだやかに話しあいゆずりあつ
ていく道を仏教が説くときがきまし
た。

おしやかさまは二千五百年も前に
今日あることを知っていたのでしょ
うか。ありがたいことです。

宇宙の全生命を尊とすると、即
ち宇宙のすべての生命を肯定するお
しやかさまの教えこそ、平和へ至る
道なのです。自分と違う宗教の信者
の生命も同じように尊とい、まこと
にありがたいことです。

黒田方丈様は、おしやかさまの教
えをすでに七年前から実践して参り
ました。善光寺派遣海外留学僧がそ
れです。

これには二つの重要な意義があり
ます。ひとつは、仏教内部の実践で
す。宗派をこえ、大乘と小乗をこえ
る実践です。

宗派こえた留学僧制度。

方丈様自身二十数年前、タイ仏教で得度され、数年前四人のご子息が得度され、いまた留学僧が得度されました。大乘と小乗が親善交流することから仏教内部の協調が生まれます。

ふたつには、国際的な宗教問題―キリスト・ユダヤ・イスラムの三教の対立を協調へ止揚する実践の第一歩を歩きはじめています。世界を考えると現在の留学僧の三十五名は少数といえるでしょう。しかしなにごともしからはじまることを思えば大変に立派な数ではありませんか。世界的に知られた科学者たちは、核による破壊と環境破壊が地球を滅ぼすと警告しています。この二つを同時にやるのが戦争です。現代の戦争は地球即人類を滅亡させます。

宇宙のすべての生命を尊といたする仏教が世界へおくる実践的メッセージが、海外留学僧なのです。平和

への道づくりは平和への人づくりです。方丈様はこの世界的な大事業に誰でも参加できる方法を創作しました。これが留学僧制度の中でもっとも卓越した点かもしれません。毎食ひと口。一回十円。一日三十円。

これからはビールのおいしい季節です。屋上のビアホールでジョッキをかたむけるのは実にイイですね。飲む前に十円を別のポケットに入れておけばいいのです。これを忘れないければ宇宙の中の尊とい生命を損なうような飲み過ぎを防ぐことにもなるといえるでしょう。義務とかなんとかいうクライムものではなく、ビールも適量おいしく飲んでこのおいしさを明るく肯定し、十円を別のポケットに入れて貯めておくことで、世界平和の大事業に参加することができる。なんというすばらしいことでしょう。

一杯のビールも禁止否定し歯を食いしはるといったこととでなく（これでは長続きしません）、一杯のビール

を大いに楽しみ明日への活力にしなから、ポケットに入れた十円で大事業に参加できるところに、この制度の明るさすばらしさがあるのです。一杯やって気が大きくなったら百円でも千円でも別ポケットに入れても結構。

海外留学僧制度のこの明るさ、生活の中ですぐ実行できる喜びを忘れないようにしましょう。

横浜市 赤間 義徳

台湾親善訪問など皆様益々ご清栄の段、大慶に存じます。毎度ご芳情を賜りながらごぶさたばかりしまして、申し訳もございません。タイからの零泰尼も何とか無事冬をこすことができてはつとしております。日本語も大分上手になりました。漢字も三〇〇字以上はわかるようになりました。将来何かのお役に立つようになればと思っております。先日スリランカの僧を岡山の曹源寺の方

へ依頼したところです。上座部の方も大乘に興味があり、勉強したい人があります。達磨大師の生国地方のあるインドでも南部の方で大乘仏教を再興したいと言う希望を聞きました。そのために女子二名大乘仏教の尼僧にして十年位あづかってくれたのまれましたが、まだ先方が子供なので無理と思いますし、私の方もまだせますぎますのでまだまだです。老庵主が何とかもう少し元氣になつてくださったらと考えております。皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

岐阜県 山本 淨月

貴山益々緑深く美しく御堂に映ゆる候、洵に御栄祥大慶に存じ奉ります。先日は御先考様十三回忌とて美しい席へ御招き下さいまして、まことに有難うございました。

一つ一つ眼の辺りに当日におきた暖かい御心づくしを思い出し心から嬉

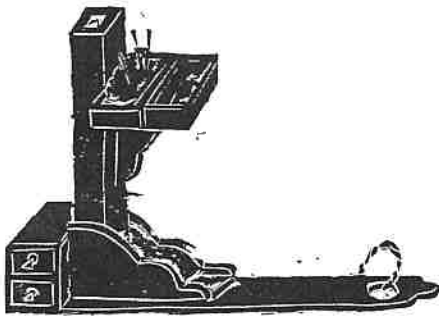
く存じ居ります。

総持禪師の「杜鶴啼山風竹裂」の偈を黄磁紅彩御水指に照り映えさせた御とりあわせ、報恩の茶杓は当日の爲に外にては使用せず特に御つかいありました御心、そして織部のなつかしい御菓子と影絵の風情の御茶室とにつ、しみ深い風情も感ぜられ、御美事でありました。続いて緋もうせんにて、心を和ませていたゞき青梅、上手の瓢赤絵の振出しに夫婦供浄土に坐す気分にて縮りもなく只々よろこび感謝し恐縮しているばかり。手造りの志野小服は絵うつくしく恐らく名ある人の作と考え、大辞典外索出仕りましたところ、近江の三井高就牧山(号)稜々と号すの在制ではないかと思いましたが、そちらに御知りの方あると聞き及び居りますので、真のところ又の期にでも御うかがいさせて下さいませ。

黒田大圓老師様には御尊体御回復

の御様子にて御気分よく御ありでしが本当に一番の慶事であります。何卒御大切に遊されますように御願ひ申します。

東京都 井高 帰山





南無大德觀世音菩薩
 無量壽佛
 願解如來真法義
 向經偈

